

提案書「にぎわいの魅力都市部会」

1. テーマ 農業に係わる提言

サブテーマ「耕作放棄地について」

2. テーマの背景

我々の部会は、農業、林業、水産、畜産、工業、観光、雇用等幅広い項目で、任期間に全て研究する事は大変な事です。そこでメンバーで意見を出し合い、優先順位を決めて進めて行く事にしました。第1農業について、第2林業について、第3畜産についての順序で議論を行いテーマを完了していき、第3番目が完了時点で第1～3のテーマの関連ある部分について研究し、そして次の計画を立てる事としました。

第1の農業については多数の問題提起があり、多くの時間が必要と思えたので、全員でサブテーマを決めて進める事としました。

「耕作地が荒れている所が目立っている」「この事は農業力の低下に結びついているのでは・・・」等の意見が多く出ましたので、現状の状態を資料に基づき議論しました。昨年調査の耕作放棄地323ha(14%)、そのうち再生不可能農地は181ha(56%)を占めています。この再生不可能農地は確実に耕作放棄が進み、農業の衰退をしめしていると考えられます。よってこのテーマの切り口としてサブテーマ「耕作放棄地について」を決め、討議を進めていく事としました。

3. 狙い(目標)

耕作放棄地14%の現状維持が出来る様な施策を提言する。

4. 展開(討論)の考え方

目標を達成出来る提言で、農業の衰退に歯止めが出来、農業の活性化への足掛かりとなる事。

5. 問題点(議論項目)の抽出

現状の耕作地の様子を資料収集、各委員より地域の問題を提示等により、把握し、認識を共通化しました。

問題1. 耕作地・農地に関する行政施策で中山間直接支払制度は、新見地域の实情に即さない点(条件)があり、対象が制限されています。

問題2. 高齢化による人材・労力不足

問題3. 農業に関する相談窓口が不明確

問題 4 . 農業収入が少なく、農業での生計が難しい。

6 . 問題点に対する提言

5 - (1) 新見市内の農業に即した独自の施策を作る。

「中山間直接支払制度」で考えると、この制度の条件の対象から外れる耕作地が多い。

条件項目	制 度	提 言
面 積	1 ha	5 0 a
傾 斜 度	有	無

市内の耕作地の現状に即したように条件を緩和した施策を講ずる。

可能な限り集団化を図り、全市的な、営農組合、企業の参入促進、オーナー制度の導入等の積極的な施策が必要
地域の独自性を発揮する付加価値の高い作物の奨励
の特区又はモデル地区を設置し、市全体への展開を図る。

5 - (2) 人材・労力の確保

集団化営農の後継者・リーダー作りへの支援

-) 座談会、研修会を開催
-) 教育訓練の場の提供
-) 情報の場の提供

施策遂行にあたり、事務の軽減等市の助成を要望

オーナー制は農地を持たない人達の労力を有効活用

集団化営農のリーダーへの優遇対策（報酬など）による人材の確保
モデルなどの試行でのリーダー養成支援

5 - (3) 相談窓口の明確化

農業の継続不可能な人への相談窓口の設置とその周知

農地を持たない人、農業に興味を持つ人達の相談窓口の設置
（農地だけでなく、空家、農機具、農業技術などを含む）

農作物の販売拡大の支援

特産物のキャンペーン、PRの強化支援

場所：大都市、県南

作物：阿新米、ピオーネ、リンドウ、野菜、トマト、etc .

5 - (4) 農家の収入の向上

付加価値の高い独自性の農作物の生産と品質向上の為の指導
グループ化・集団化農業による効率化の実現

販売方法の検討会の開催（ホームページ等）

7. まとめ

問題に対する提言は、我々部会の討議の結果です。新見市内の農業の活性は、国県の施策だけでなく、新見市に適応した農業に対する施策が必要と考えられます。

次に農業の活性化は農業による農家の収入増の施策を行い農業、農家も就職の選択肢の一つになる様、地位向上を図るべきであり、人材の確保、労力の確保も同時に解消され、経済効果へ結びつくと考えられます。このサイクルが農業の活性化となり、結果として耕作放棄地発生の歯止めに寄与すると信じます。